

教員インタビュー（中学校）

島に赴任しようと思ったきっかけ

自分がまだ知らない世界を見てみたいという気持ちが強くあり、島で働いた、また働いている先輩や同期の話を聞き、島で働くことに興味をもちました。前任校で地域教材を生かした研究を行っていたことから、地域を生かした教育活動へ魅力を感じたのも島を希望したきっかけの一つです。そして何より、実際に島へ旅行した際に、東京とは思えない素晴らしい自然の数々を目の当たりにして、住んでみたい、自分自身も子育てしたいと思ったからです。

生徒の人数が少ないことについて

一人一人にきめ細やかな指導ができる一方で、大規模校と比べると、日常生活の中で同年代の多様な価値観や見方に触れる機会がどうしても少なくなってしまうので、教師による何らかの指導上の工夫が必要だと感じています。

島の学校と内地の学校で違いがあると感じること

設備や備品などに学校の伝統を感じる部分が多々あります。ただ、最低限のものはもちろん揃っているので、そこまで不便は感じていません。中学校に関していえば1クラスに教員が5名ほどつく、という贅沢な仕様なため、学年の先生と協力して仕事を進めることができます。また、通勤、出張は基本車です。島自体が車社会であるということに、赴任して早々びっくりしました。車の免許は必須です。

仕事や日常生活において、赴任前のイメージと違ったこと

日常生活に関してはコンビニやチェーン店がない、という生活があまり想像できませんでしたが、いざ暮らし始めると、一通りのものが揃うスーパーが近くにあったり、ネットの通販なども普通に届いたりするなど、特に生活に不便を感じることは今のところありません。また、赴任前一番心配だった都会育ちの息子（小学生）が、すっかり大島を気に入ってくれたことに何よりほっとしています。

島だからできたこと

まだ赴任したばかりですが、今後大島の魅力を中学生自身が感じ、島外に向けて発信できるような活動や、島内で大島のために何かできたらいいなと考えています。

日常生活の買い物

歩いて10～15分くらいのところにあるスーパーで食料品などを、それ以外の書籍、日用品、衣類などはインターネットの通販を利用しています。

休日は何をして過ごしていますか

港まで行って船を見たり、家の近くの子供と一緒に散歩したりしています。鳥の声や道に咲く季節の木々や花々、キラキラ光る海を見ていると、ああいい場所に来たなあとしみじみ感じます。生徒にもよく会いますが、みんな元気よく挨拶してくれます。

島での生活や仕事の一番の魅力

島の環境については言わずもがなですが、実際に赴任して、そこに暮らす人々にとっても魅力を感じました。島の子供たちはのびのびと育ち、とても素直でかわいいです。職場の人とも家族ぐるみの付き合いができること、また、困ったときには自然と助け合える環境はとてもありがたいです。町やお店の方もみなさんとても親切で、あたたかく、近くのおいしいお寿司屋さんでのごはんは自分へのご褒美です。

島への赴任を検討している方に一言

島に行ったことがない人はぜひ実際に足を運んでみてください。百聞は一見に如かずで、きっと島で働くことに魅力を感じると思います。1日の空の変化や季節の移ろいを肌で感じることでできる環境で、生活し、働くことができる日々は、今はまだ少し慌ただしい部分もありますが、とても充実しています。島への赴任を東京都の教員として、また、自分自身のものの見方や考え方を広げるきっかけにしたいと考えています。